

「降伏からの勝利」

創世記 32章22~32節

1

その夜、彼は起き上がり、二人の妻と二人の女奴隷、そして十一人の子どもたちを連れ出し、ヤボクの渡し場を渡った。彼らを連れ出して川を渡らせ、また自分の所有するものも渡らせた。ヤコブが一人だけ後に残ると、ある人が夜明けまで彼と格闘した。その人はヤコブに勝てないのを見てとって、彼のもの関節を打った。ヤコブのもの関節は、その人と格闘しているうちに外れた。すると、その人は言った。「わたしを去らせよ。夜が明けるから。」ヤコブは言った。「私はあなたを去らせません。私を祝福してくださいさなければ。」 創世記32:22-26

2

その人は言った。「あなたの名は何というのか。」彼は言った。「ヤコブです。」その人は言った。「あなたの名は、もうヤコブとは呼ばれない。イスラエルだ。あなたが神と、また人と戦って、勝ったからだ。」ヤコブは願って言った。「どうか、あなたの名を教えてください。」すると、その人は「いい、なぜ、わたしの名を尋ねるのか」と言って、その場で彼を祝福した。

そこでヤコブは、その場所の名をペヌエルと呼んだ。「私は顔と顔を合わせて神を見たのに、私のいのちは救われた」という意味である。彼がペヌエルを通り過ぎたころ、太陽は彼の上に昇ったが、彼はそのものために足を引きずっていた。こういうわけで、イスラエルの人々は今日まで、もの関節の上の、腰の筋を食べない。ヤコブが、もの関節、腰の筋を打たれたからである。32:27-32

3

人生は自分の努力ではない

- ヤコブはここまで自分の知恵と力に頼って生きて成功した
- **仕事で成功しても、富を築いても、人生に失敗することはある**
- 「世の友になりたいと思うものは誰でも**自分を神の敵としている**のです。」 ヤコブ4:4、ピロヒ3:18-20
- 神を敵として人生に成功する事はあり得ない
- 人は蒔いたものを刈り取る。ヤコブも。 ガラテヤ6:7-8

4

神の力で勝つ(成功する)

- ヤコブは母の胎で兄のかかとをつかみ、その力で神と争った。御使いと格闘して勝ったが、**泣いてこれに願った**。ベテルでは神に出会い神はそこで彼に語りかけた。【主】は万軍の神その呼び名は【主】。**あなたは、あなたの神に立ち返り、誠実と公正を守り、絶えずあなたの神を待ち望め。** ホセア12:3-6
- ヤコブが学んだ姿勢はイスラエルの生きる姿勢でもある。

5

神の力で勝つ(成功する)

- **みな互いに謙遜を身に着けなさい。「神は高ぶる者には敵対し、へりくだった者には恵みを与えられる」**のです。ですから、あなたがたは**神の力強い御手の下にへりくだりなさい。神は、ちょうど良い時に、あなたがたを高く上げてくださいます。**あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださいさからです。

1ペテロ5:5-7

6

降伏からの勝利

- 腰の骨を外された。詩119:71
- ヤコブは足を引きずるようになったが、学んだ
- イスラエルは、腰関節の筋の部分を食べなくなった。その生き方を忘れないように。
- パウロも同じことを学んだ
- しかし主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。わたしの力は弱さのうちに完全に現れるからである」と言われました。ですから私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。、、、私が弱いときにこそ、私は強いのです。2コリント12:9-10

7

私たちも学ぶ

- しかし私には、私たちの主イエス・キリストの十字架以外に誇りとするものが、決してあつてはなりません。この十字架につけられて、世は私に対して死に、私も世に対して死にました。割礼を受けているか受けていないかは大事なことはありません。大事なのは新しい創造です。この基準にしたがって進む人々の上に、そして神のイスラエルの上に、平安とあわれみがありますように。ガラテヤ6:14-6

8

降伏からの勝利

- バプテスマは、神の無条件の愛に対する私たちの無条件降伏、自分を明け渡すこと。
- バプテスマ生活は「無条件降伏」の生き方
- 自分のプライドや栄光のために自分の力で（バベル的生き方）ではなく、神の恵みで神の栄光のために生きる。
- 私たちも弱いときにこそ強い！

9

私たちも学ぶ

- ビジネスや仕事に成功しても人生に失敗することはあります。要注意！
- 自分の知恵と力ではなく、神の知恵と力で生きましょう。
- 神を信頼して神に自分を明け渡し、神といっしょに戦って勝利を得ましょう。
- 人生の相手は神です。「神を相手に」生きましょう。

10